



当番表を作成して集落防護柵を徹底管理 ～丹波市青垣町東芦田集落の取り組み～



地区の概要

| | |
|-----------------|--------|
| 全戸数 | 179戸 |
| 農作業従事戸数(家庭菜園含む) | 128戸 |
| 専業農家 | |
| 農地面積 | 約102ha |
| 生産目的 | ほぼ販売用 |
| 集落営農 | 有 |
| 生産組合 | |



丹波市青垣町に位置する東芦田集落。集落の中央部を県道が縦断している。集落営農や交流事業など地域づくり活動が活発な地域であるが、シカ・イノシシの被害対策が重要な課題となっている。主な作物は水稲、小豆、麦、そば。


これまでの対策

集落防護柵の設置
山際に、約13kmの金網柵を設置。補助事業を活用し、補助残も農会・自治会で負担点検体制の整備

猟友会と連携した捕獲活動

2010年
集落学習会
集落点検

2011年
集落学習会
フォローアップ研修(丹波農林) 検討を重ねる



ここに注目!

8グループに分けて当番表を作成 ローテーションで月2回点検

平成23年 鹿・猪・獣防護柵管理当番表

| 番号 | 担当 | 作業日(第一、三、日曜日) |
|----|----|--------------------|
| 1 | | 2月6日 6月5日 10月2日 |
| 2 | | 2月20日 6月19日 10月16日 |
| 3 | | 3月6日 7月3日 11月6日 |
| 4 | | 3月20日 7月17日 11月20日 |
| 5 | | 4月3日 8月7日 12月4日 |
| 6 | | 4月17日 8月21日 12月18日 |
| 7 | | 5月1日 9月4日 1月8日 |
| 8 | | 5月15日 9月10日 1月22日 |

※点検、作業が終われば、必ず当番表を次の当番に渡して下さい。
※柵に異常があれば、担当役員(中村)までお知らせ下さい。

定期点検
・月2回の定期点検
・8グループに分けて
当番表作成(左図)



河川からの侵入防止対策も課題の一つ



柵で封鎖できない道路は、両脇に柵を延長して対応。



集落点検の結果、電圧が低かった個別の電気柵もきちんと電気が流れるようになりました。



学習会を開催

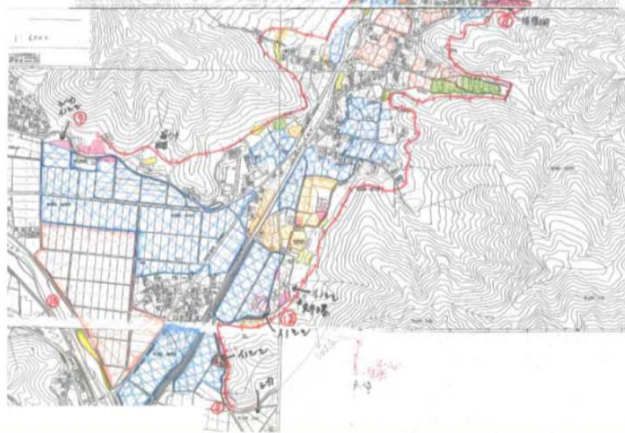


集落で学習会を2回開催し、被害対策の基本を学ぶ

集落点検を実施



集落点検を実施し、シカの侵入箇所や対策の問題点をチェック



取り組みの成果と今後の課題



封鎖できない道路や河川、また隣接集落からの侵入はあるが、集落防護柵設置箇所は適切に管理し、シカやイノシシの侵入ルートを限定している。小さな溪間は、金網柵やのり網によりふさがれている。また、ブドウ園・モモ園があるが、電気柵とネット柵で防護できている。



集落での学習会や集落点検を実施することにより、課題点が明確になり、その解消に向けた取り組みを始めている。集落営農組織が個人の耕作放棄の受け皿となり、全般的に放棄地は少なく管理されている。



猟期には、集落内で8基の捕獲檻を設置し、2010年度はシカ20頭、イノシシ8頭の捕獲実績がある。今後は侵入個体をいかに効率よく捕獲するかが鍵。

センター講評

集落規模は大きいですが、集落営農等地域活動が大変盛んで、集落防護柵の点検作業については、当番表を作成するなど組織的な意思決定ができています。集落を縦断する県道や河川、隣接集落などシカ・イノシシが侵入してくる箇所もありますが、年24回もの徹底した管理により、かなりの被害が防がれているものと思われます。今後は、侵入したシカ・イノシシを効率的に捕獲する方法や個別柵をきちんと管理して防護する方法を推進すれば、さらに成果はあがることが予想されます。

